



株主の皆様へ 第145期 中間事業報告書

平成30年4月1日～平成30年9月30日



Takara standard

「きれい」と暮らそう、高品位ホーロー。

Outline

当社グループの営業の概況



本社工屋



代表取締役社長

渡辺 岳夫

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の底堅さに加え、設備投資や輸出が堅調さを維持するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。住宅市場におきましては、政府による住宅取得支援策や住宅ローンの低金利が続いているものの、住宅着工やリフォーム需要は盛り上がり欠ける状況にて推移いたしました。このような事業環境の下、当社グループは、業界最多のショールームを活用した流通業者との合同展示会やリフォーム相談会などの販売促進活動を積極的に行い、需要の掘り起こしに努めてまいりました。また前年の首都圏に続き、需要の取込み強化を目的とした営業組織の再編を他の大都市圏にも順次拡大し、リフォーム市場での営業力・営業効率の向上を図りました。

しかしながら、新築マンション市場における納入が一時的に谷間となったことや、リフォーム市場の伸び悩みなどの影響により、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高929億2千5百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益54億8千5百万円（同18.5%減）、経常利益57億3千4百万円（同17.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益37億9千4百万円（同18.2%減）となりました。

下半期に向けましては、継続したリフォーム市場獲得に向けた取り組み強化と生産性の向上を図り、引き続き持続的な成長を目指して取り組んでまいります。

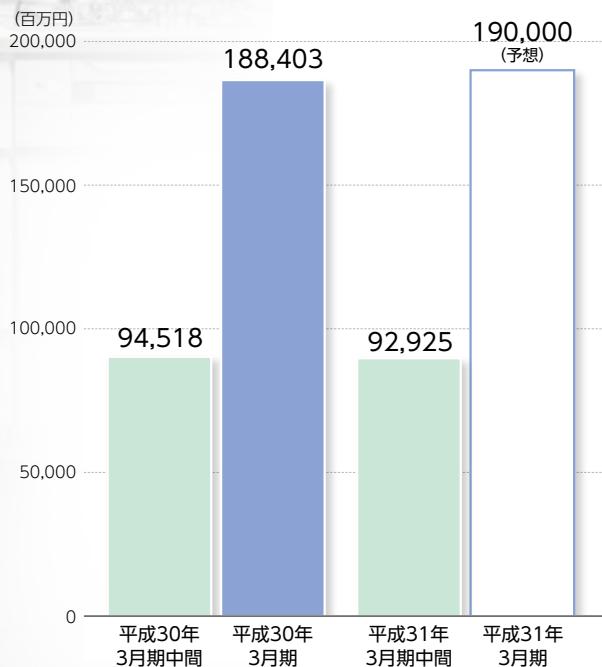
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月

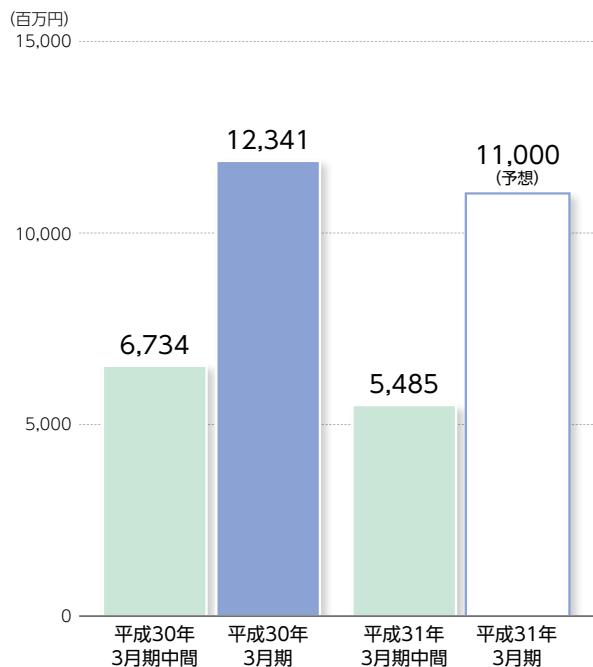
業績の概要(連結)

(単位：百万円)

売上高の推移



営業利益の推移



部門別売上高

(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

厨房部門

新築戸建市場で販売台数を伸ばしたものの、新築マンション市場では納入の谷間となり販売台数が減少したことから、売上高は538億6千万円(前年同四半期比2.6%減)となりました。

浴槽部門

システムバスにおいては、新築市場で販売台数を伸ばしたことに加え、リフォーム市場においても「ぴったりサイズシステムバス」が販売台数を伸ばし、売上高は217億6千5百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

洗面部門

新築戸建市場で販売台数を伸ばしたものの、新築マンション市場では納入の谷間となり販売台数が減少したことから、売上高は100億3千6百万円(前年同四半期比1.6%減)となりました。

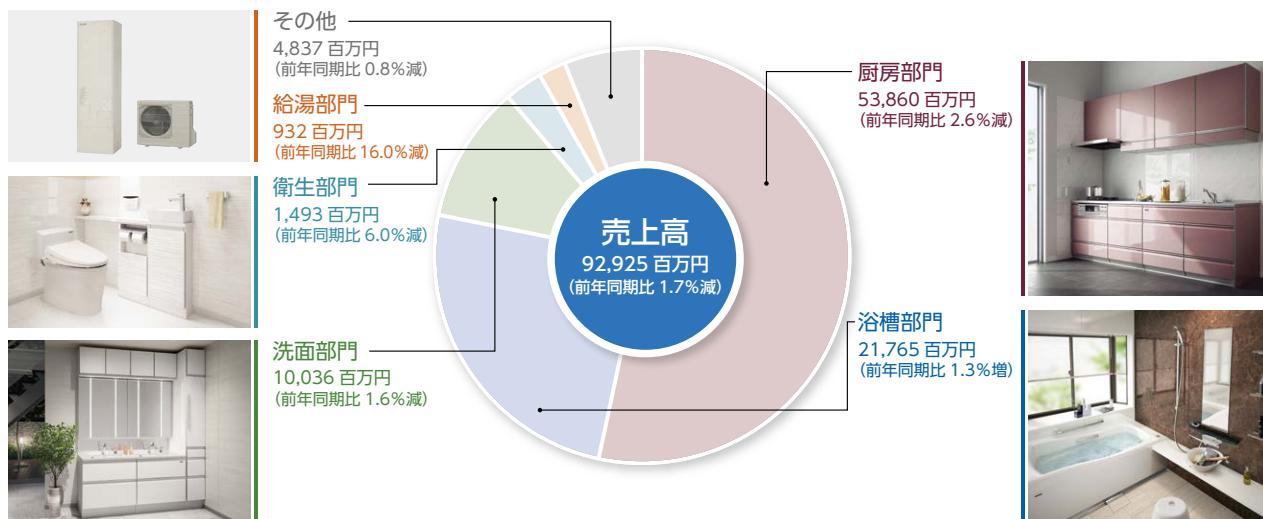
衛生部門

トイレパネル(フロア用・壁面用)・収納の空間提案により単価アップを図りましたが、売上高は14億9千3百万円(前年同四半期比6.0%減)となりました。

給湯部門

熱源別で、ガスは販売台数を伸ばしたものの、電気・石油の販売台数が減少したことから、売上高は9億3千2百万円(前年同四半期比16.0%減)となりました。

平成31年3月期中間 部門別売上高

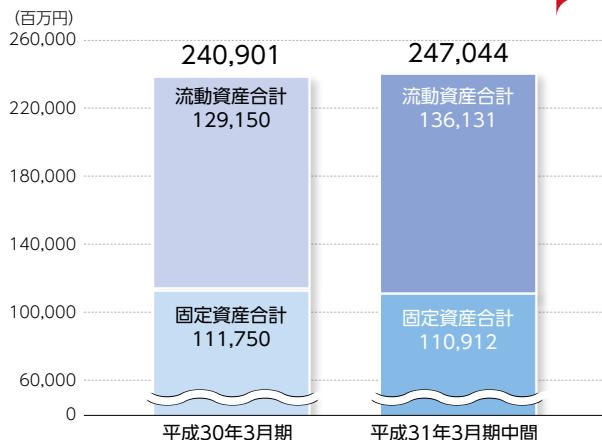


連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)

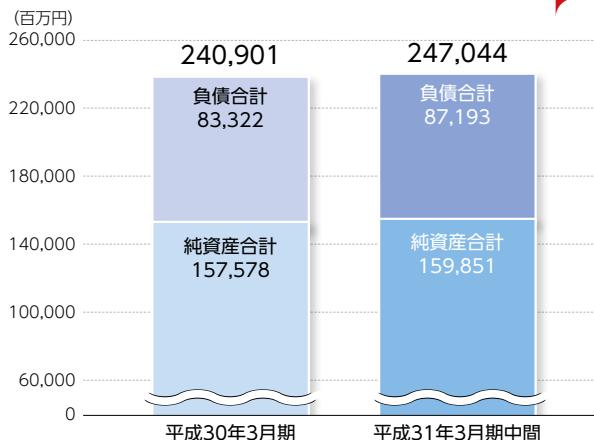
資産の部(資産合計)

ポイント
1



負債及び純資産合計

ポイント
2



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

ポイント
3

(単位：百万円)

	平成30年3月期中間	平成31年3月期中間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,279	6,281	△997
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,270	△2,104	△5,374
フリーキャッシュ・フロー	10,550	4,177	△6,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△497	△1,170	△672
現金及び現金同等物の増減額	10,052	3,007	△7,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,311	61,490	18,179

ポイント 1 資産

前連結会計年度末と比べ 61 億 4 千 2 百万円増加し、2,470 億 4 千 4 百万円となりました。主な増加は、現金及び預金 30 億 7 百万円、受取手形及び売掛金 42 億 4 千 7 百万円であり、主な減少は、電子記録債権 11 億 6 千 9 百万円であります。

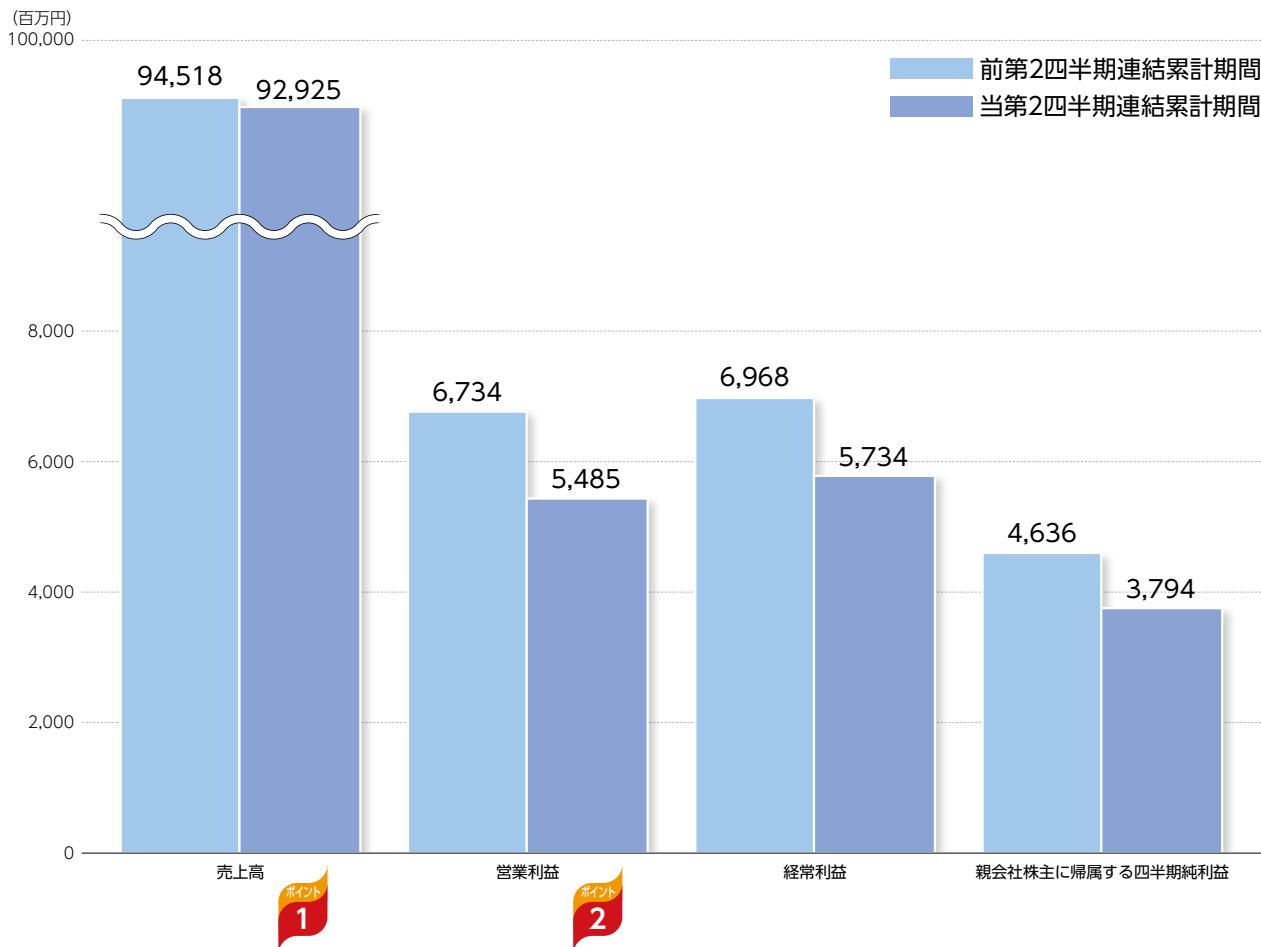
ポイント 2 負債／純資産

負債は、前連結会計年度末と比べ 38 億 7 千万円増加し、871 億 9 千 3 百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べ 22 億 7 千 2 百万円増加し、1,598 億 5 千 1 百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益 37 億 9 千 4 百万円であり、主な減少は、剰余金の配当 11 億 7 千万円、その他有価証券評価差額金 5 億 6 千 2 百万円であります。

ポイント 3 キャッシュ・フロー

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 30 億 7 百万円増加し、614 億 9 千万円となりました。



ポイント
1 売上高

新築戸建住宅向けが堅調に推移しましたが、新築マンション市場における納入が一時的に谷間となったことやリフォーム市場の伸び悩みにより、前年同期と比べて15億9千2百万円減少となりました。

ポイント
2 営業利益

主要資材の値上げや販売費及び一般管理費の増加等により、前年同期と比べて12億4千8百万円の減少となりました。

会社の概要

(平成30年9月30日現在)

設 立	明治45年5月30日
資 本 金	263億5千6百万円
本 店	大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号
従 業 員 数	6,185名(連結)

事業所

ショールーム/全国172ヶ所

支社・支店： 全国41ヶ所	北 海 道： 8ヶ所	近 畿： 23ヶ所
営 業 所： 127ヶ所	東 北： 18ヶ所	中 国： 16ヶ所
工 場： 16ヶ所	関 東： 40ヶ所	四 国： 9ヶ所
関係会社： 2社	中 部： 35ヶ所	九 州： 23ヶ所

主要営業品目

厨房機器	ホーローシステムキッチン、木製システムキッチン、コンパクトキッチン、キッチンセット、ホーローグリーンキッチンパネル、加熱機器、レンジフード、各種収納機器、その他厨房機器
浴槽機器	システムバス、シャワーユニット、シャワー&トイレユニット、鋳物ホーロー浴槽、カラーステンレス浴槽、人造大理石浴槽と付属品
洗面機器	ホーロー洗面化粧台、木製洗面化粧台、洗面収納ユニット、ホーローグリーン洗面パネル
衛生機器	住宅用トイレ、ホーローグリーントイレパネル、手洗器、各種収納機器
給湯機器	電気温水器、エコキュート、石油およびガス給湯器、風呂釜 等
そ の 他	その他の住宅設備機器、業務用厨房、ホーロー建材、金型、フリット、薄板鋼板ホーロー

お近くのショールームはホームページでご確認ください。http://www.takara-standard.co.jp/

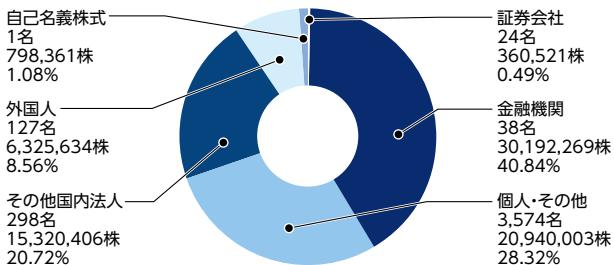
株式の状況

(平成30年9月30日現在)

発行可能株式総額	150,000,000株
発行済株式の総数	73,937,194株 (自己株式798,361株を含む)
株 主 数	4,062名

所有者別状況

※グラフは株式数比率で表示しております。



大株主

株主名	持株数	持株比率
タカラスタンダード持株会	11,775 千株	16.10%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,753	9.23
タカラベルモント株式会社	6,592	9.01
タカラスタンダード社員持株会	3,932	5.38
株式会社みずほ銀行	2,918	3.99
株式会社横浜銀行	2,723	3.72
日本生命保険相互会社	2,045	2.80
株式会社常陽銀行	1,620	2.21
株式会社三菱UFJ銀行	1,529	2.09
第一生命保険株式会社	1,430	1.96

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

TOPICS

5つの性能で暮らしを快適にする高品位ホーロー

高品位ホーローは、暮らしの様々な場面で活躍するタカラの独自素材です。

丈夫さ、清潔さ、耐水性など、厳しい条件が求められる水まわりをはじめ、住まいの様々な場面で優れた性能を発揮して、快適な暮らしを実現する素材です。



きれい

汚れても、お手入れカンタン!
油汚れや水アカ・カビも水拭きでキレイに。



長持ち

頑丈で色あせないから、とても長持ち!
湿気や熱に強く、腐食しない。



安全

お子様やご家族の健康にも配慮!
接着剤を使わない安心な素材



便利

マグネットが使えるから便利!
自分好みで自由に取り付け・取り外し



美しい

暮らしを彩る華やかエッセンス!
ホーロー独自のデザインが空間を美しく演出

全国各地のショールームをリニューアルオープン

全国のショールームが新設・リニューアルにより、「空間展示」と「体感コーナー」を多数設け、お客さまに快適な“ホーローのある暮らし”をイメージしていただけるショールームに生まれ変わっています。

見て、触れて、体感して、より良い生活空間を思い描きながら商品をお選びいただけるよう、各ショールームでは地域の特性を打ち出しながら、さまざまなライフスタイルを表現した展示を充実させています。

4/20(金) 足立ショールーム新規オープン



9/1(土) 川越ショールームリニューアルオープン



9/22(土) 三原ショールームリニューアルオープン



10/5(金) 国分ショールームリニューアルオープン



TOPICS

岐阜支店新設。岐阜ショールームも移転・リニューアル

10月1日(月)に岐阜支店が新設されました。より地域に密着した顧客目線の営業展開を行うため、県内の営業所を統括し、営業力の強化を図ってまいります。

また、支店の1階には岐阜ショールームが移転・リニューアルオープンしました。岐阜県産の木や和紙とホーローを使った空間展示など、今まで以上に地域に寄り添って皆さまの暮らしのお悩みを解決していきます。



東海地方における営業力強化～中部特販支店、中部工務センター設立～

10月1日(月)に中部特販支店、中部工務センターを設立しました。中部特販支店は東海地方(愛知県、岐阜県、三重県)における新築戸建市場向けの専門部隊で、首都圏、関西、九州の特販支社・支店に続く新組織です。東海地方の施工管理機能を担う中部工務センターと共に、高い専門性を持って顧客満足度と施工品質の向上に努めます。



名古屋工場に新倉庫建設～12月には新しい焼成炉を導入し生産能力増強～



名古屋工場の敷地内に新倉庫が完成し、8月22日(水)に竣工式を執り行いました。これまで外部倉庫などを借りて保管していた資材をこの倉庫に集約し、「ロケーション管理システム」によって資材の位置や在庫状況が一括管理できるようになりました。また、12月にはホーローを生産するための新しい焼成炉を導入し、名古屋工場のホーロー生産能力は現在の約1.2倍となる予定です。これからも工場における作業の効率化と生産能力の強化を図り、よく多くの方にホーロー製品をお届けできるように努めてまいります。



株式事務の取扱い

- | | |
|---|---|
| 1. 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 2. 定時株主総会 | 6月下旬 |
| 3. 単元株式数 | 100株 |
| 4. 期末配当金受領株主確定日
中間配当金受領株主確定日 | 3月31日
9月30日 |
| 5. 株主名簿管理人
同事務取扱場所

(各種お問い合わせ) | みずほ信託銀行株式会社
東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

●証券会社に口座をお持ちの場合 <hr/> <p>郵便物送付先
電話お問い合わせ先
お取扱店</p> <p>お取引の証券会社等になります。</p> <p>ご注意 未払配当金の支払、支払明細発行については、下記の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。</p> ●特別口座の場合 <hr/> <p>郵便物送付先
電話お問い合わせ先
お取扱店</p> <p>〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
みずほ証券株式会社 本店および全国各支店</p> <p>ご注意 単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。
電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。</p> |
| 6. 公告方法 | 当社ホームページに掲載
< http://www.takara-standard.co.jp/ >

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 |
| 7. 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第1部 |